

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイエスエス

コード番号 6074 URL <http://www.iss-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤木 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 田原 富夫

TEL 06-6449-6121

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,670	—	129	—	91	—	37	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.21	—
25年3月期第2四半期	—	—

当社は、平成25年3月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第2四半期の数値及び平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	4,945	—	1,444	—	29.2	—
25年3月期	4,895	—	1,156	—	23.6	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,444百万円 25年3月期 1,156百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.00	7.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,286	3.0	364	17.8	309	17.2	154	△46.8	79.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	2,013,028 株	25年3月期	1,958,028 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	— 株	25年3月期	245,000 株
----------	-----	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	1,872,044 株	25年3月期2Q	1,738,028 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定期性情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府の金融緩和策や景気対策への期待もあって、円安・株高が進行したことにより、一部企業の収益改善が見られたほか、個人消費も底堅い動きを示したものの、平成26年4月に予定されている消費税増税に対する消費者の心理的不安などを背景に実体経済は、総体としてみると依然盛り上がりには乏しいままに推移しました。

このような環境下、当社は第1四半期に続き企業価値向上を図るため、ホームページの充実を行い、特に各事業所別の情報を充実することによって、スクール会員の利便性向上を図ると共に地域密着型の営業姿勢を打ち出すことにより、各地域における知名度向上を継続的に図りました。また大人会員が減少する中、その対策として大人対象の当社オリジナル水中プログラム「アクアスティックマジック」を開発し、全事業所スタッフ対象に研修会を実施し、同プログラムをスタートさせました。

そのような営業施策により、第2四半期末の会員動向につきましては、子供会員は微増したものの、第1四半期と同様に契約終了したフィットネスクラブオーシャンの会員数減が影響し、第2四半期末の会員数が101,652名(前年同期比1.5%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,670百万円、営業利益129百万円、経常利益91百万円及び四半期純利益37百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ50百万円増加し、4,945百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が127百万円増加した一方で、有形固定資産の建物が53百万円、敷金及び保証金が30百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ237百万円減少し、3,501百万円となりました。これは主に、流動負債の短期借入金が53百万円、固定負債の長期借入金が216百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ288百万円増加し、1,444百万円となりました。これは主に、公募による新株式の発行及び公募による自己株式の処分により資本剰余金が115百万円増加した一方で、自己株式が122百万円減少したことによるものであります。

なお、当社はスイミングスクール運営事業の単一事業であるため、セグメント別、事業部門別の記載を行っておりません。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は377百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は292百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益91百万円、減価償却費85百万円、仕入債務の増減額77百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は87百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出111百万円、敷金及び保証金の差入による支出6百万円に対し、敷金及び保証金の回収による収入36百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は78百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出216百万円、短期借入金の純減額53百万円に対し、自己株式の処分による収入214百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年6月27日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	249,948	377,442
受取手形及び売掛金	127,062	108,306
商品	67,806	68,540
その他	99,265	95,560
貸倒引当金	△1,350	△1,050
流動資産合計	542,733	648,799
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,663,743	1,610,657
土地	1,660,626	1,660,626
その他(純額)	156,415	218,313
有形固定資産合計	3,480,785	3,489,597
無形固定資産		
投資その他の資産	163,744	129,481
敷金及び保証金	547,146	516,365
その他	161,215	161,622
投資その他の資産合計	708,361	677,987
固定資産合計	4,352,891	4,297,066
資産合計	4,895,624	4,945,866
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,229	241,804
短期借入金	78,335	25,001
1年内償還予定の社債	48,500	48,500
1年内返済予定の長期借入金	450,010	450,330
未払法人税等	62,130	57,473
未払消費税等	26,453	40,172
前受金	411,061	434,761
賞与引当金	64,149	71,181
その他	479,142	431,392
流動負債合計	1,784,011	1,800,616
固定負債		
社債	204,500	180,250
長期借入金	1,427,965	1,211,100
退職給付引当金	194,875	192,159
資産除去債務	45,910	46,263
その他	82,125	71,205
固定負債合計	1,955,377	1,700,978
負債合計	3,739,388	3,501,595
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	306,694	330,729
資本剰余金	10,000	125,665
利益剰余金	962,040	987,876
自己株式	△122,500	—
株主資本合計	1,156,235	1,444,270
純資産合計	1,156,235	1,444,270
負債純資産合計	4,895,624	4,945,866

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,670,393
売上原価	3,131,110
売上総利益	539,283
販売費及び一般管理費	410,236
営業利益	129,046
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	159
貸倒引当金戻入額	300
受取保険金	3,513
その他	639
営業外収益合計	4,618
営業外費用	
支払利息	14,801
社債利息	1,116
株式公開費用	13,257
株式交付費	10,792
その他	2,394
営業外費用合計	42,362
経常利益	91,302
特別損失	
固定資産除却損	140
特別損失合計	140
税引前四半期純利益	91,162
法人税、住民税及び事業税	46,151
法人税等調整額	7,184
法人税等合計	53,335
四半期純利益	37,826

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	91,162
減価償却費	85,353
のれん償却額	32,722
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,031
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,716
受取利息及び受取配当金	△166
支払利息	14,801
社債利息	1,116
株式交付費	10,792
株式公開費用	13,257
有形固定資産除却損	140
売上債権の増減額 (△は増加)	18,755
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△733
仕入債務の増減額 (△は減少)	77,575
未払金の増減額 (△は減少)	△9,733
未払費用の増減額 (△は減少)	△16,162
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,350
前受金の増減額 (△は減少)	23,699
その他	△499
小計	359,447
利息及び配当金の受取額	166
利息の支払額	△15,793
法人税等の支払額	△51,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,761
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△111,360
無形固定資産の取得による支出	△3,235
敷金及び保証金の差入による支出	△6,234
敷金及び保証金の回収による収入	36,749
その他	△3,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,087



(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△53,334
長期借入金の返済による支出	△216,545
社債の償還による支出	△24,250
株式の発行による収入	48,070
配当金の支払額	△11,991
株式の発行による支出	△10,792
株式公開費用の支出	△13,257
自己株式の処分による収入	214,130
その他	△10,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	127,493
現金及び現金同等物の期首残高	249,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	377,442

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、株式会社大阪証券取引所(現 株式会社東京証券取引所) JASDAQ(スタンダード)への株式上場にあたり、公募による新株式の発行及び公募による自己株式の処分を行い、平成25年6月26日に払込が完了いたしました。この結果、資本金が24,035千円、資本剰余金(資本準備金)が24,035千円、資本剰余金(その他資本剰余金)が91,630千円増加した一方で、自己株式が122,500千円減少したことにより、当第2四半期会計期間末において資本金が330,729千円、資本剰余金が125,665千円となっております。

なお、平成25年5月24日及び平成25年6月7日開催の取締役会において、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しが行われることを条件として、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議いたしました。株式会社SBI証券はシンジケートカバー取引により当社株式を取得したため、当該新株式の発行は行われませんでした。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社はスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。